

## 2008年7～9月期GDP統計予測

～前期比▲0.1%(年率▲0.2%)と、2四半期連続のマイナス成長～

### (1) 2四半期連続のマイナス成長

2008年7～9月期の実質GDP成長率は前期比▲0.1%(年率▲0.2%)と、2四半期連続のマイナス成長となった見込み。これは、①個人消費の低迷が続いたこと、②輸出の増勢鈍化により外需の寄与度がマイナスとなったこと、③設備投資の減少幅が大幅に拡大したことが原因。

### (2) 需要項目の特徴

イ) 個人消費 (前期比+0.0%、年率+0.1%)

4～6月期の大幅減(前期比▲0.5%)の後、ほぼ横ばいで推移。所得が低迷するなか、エネルギー・食料品を中心に物価の上昇ペースが一段と高まったため、低所得者世帯を中心に消費の低迷が持続。

ロ) 住宅投資 (前期比+6.1%、年率+26.6%)

住宅減税の大幅拡充が行われた1999年以来の大幅増。工事期間の長い鉄筋コンクリート造などで、建築基準法改正による落ち込みからの反動が顕在化。

ハ) 設備投資 (前期比▲2.1%、年率▲8.1%)

3四半期連続の減少。原材料価格の上昇による企業収益の悪化に加え、欧米向け輸出の減少が続いたことで、製造業を中心に大幅な減少。

ニ) 純輸出 (前期比寄与度▲0.0%ポイント、年率寄与度▲0.2%ポイント)

2四半期連続で寄与度がマイナスに。輸出は前期比+1.4%(年率+5.9%)。自動車を中心に米国向け輸出が大幅に減少したほか、中国向けも増勢が鈍化したものの、資源国向けの増勢拡大により2四半期ぶりの増加。輸入は前期比+2.2%(年率+9.0%)。航空機などの輸入が増加したことに加え、サービス支払いの増加も寄与。

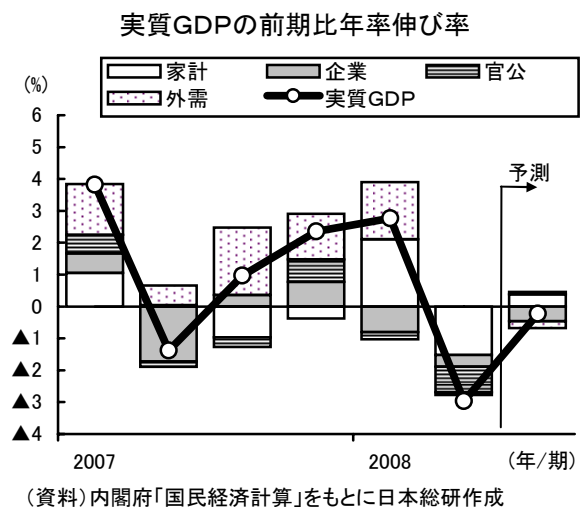
ホ) GDPデフレーター (前年同期比▲1.8%)

消費者物価や建設資材価格の上昇により内需項目のデフレーターは上昇が続いたものの、輸入デフレーターの高騰が一段と強まったことで、下落幅が拡大。

### (3) 当面の展望～景気後退色が強まる方向

当面を展望すると、金融不安の拡大により欧米景気が一段と悪化するため、わが国も景気後退色が強まる見込み。10～12月期のGDPも、以下の2点がマイナス要因として働くため、3四半期連続のマイナス成長となる公算。

- ① 欧米景気の悪化、新興国景気の減速による輸出の減少。10～11月の製造工業予測指数は、輸送機械工業など輸出関連産業で大幅減産が見込まれており、輸出のさらなる落ち込みを示唆
- ② 企業収益の悪化と輸出の急激な減少により、企業の設備投資マインドが一段と慎重化



## GDP統計予測表&lt;2008年10月31日時点の公表系列をもとに作成&gt;

## ■ 前期比

(%, 十億円)

	実質GDP													名目GDP	デフレーター	
	内需								外需							
	民間				官公需				輸出			輸入				
	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	政府消費	公共投資	公的在庫	輸出	輸入							
2007/ 7 ~ 9	0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 7.3	0.4	131.2	▲ 0.4	0.1	▲ 2.0	▲ 60.8	2453.5	2.6	▲ 0.3	▲ 0.0	▲ 0.3
10 ~ 12	0.6	0.3	0.1	0.4	▲ 9.8	1.0	147.8	0.8	0.9	0.2	73.2	1841.0	2.6	0.8	▲ 0.1	▲ 0.7
2008/ 1 ~ 3	0.7	0.3	0.4	0.7	4.3	▲ 0.1	▲ 1037.2	▲ 0.3	▲ 0.5	1.0	▲ 53.8	2369.5	3.4	1.2	0.2	▲ 0.5
4 ~ 6	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 3.5	▲ 0.5	▲ 107.4	▲ 0.9	▲ 0.0	▲ 5.1	9.7	▲ 764.3	▲ 2.5	▲ 2.6	▲ 0.8	▲ 0.1
7 ~ 9	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	6.1	▲ 2.1	303.2	0.2	0.2	0.3	0.0	▲ 12.3	▲ 1.4	▲ 2.2	▲ 0.5	▲ 0.5

## ■ 前期比年率

(%, 十億円)

2007/ 7 ~ 9	1.0	▲ 0.9	▲ 0.8	▲ 0.0	▲ 26.3	1.7	—	▲ 1.4	0.2	▲ 7.6	—	—	10.9	▲ 1.2	▲ 0.1	▲ 1.1
10 ~ 12	2.4	1.1	0.5	1.4	▲ 33.9	4.2	—	3.2	3.5	0.6	—	—	11.0	3.3	▲ 0.4	▲ 2.7
2008/ 1 ~ 3	2.8	1.0	1.6	2.8	18.2	▲ 0.5	—	▲ 1.1	▲ 1.9	3.9	—	—	14.3	4.7	0.6	▲ 2.1
4 ~ 6	▲ 3.0	▲ 2.7	▲ 2.5	▲ 1.9	▲ 13.3	▲ 1.9	—	▲ 3.7	▲ 0.2	▲ 19.0	—	—	▲ 9.7	▲ 9.9	▲ 3.3	▲ 0.3
7 ~ 9	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.5	0.1	26.6	▲ 8.1	—	0.9	0.8	1.4	—	—	5.9	9.0	▲ 2.2	▲ 2.0

## ■ 前年同期比

(%, 十億円)

2007/ 7 ~ 9	1.7	0.5	0.6	1.7	▲ 11.5	0.3	▲ 129.1	0.1	0.3	▲ 0.5	▲ 15.0	1549.2	8.7	1.4	1.1	▲ 0.7
10 ~ 12	1.6	0.2	0.1	1.2	▲ 21.7	0.0	219.4	0.8	1.4	▲ 1.8	10.7	1859.8	10.4	2.2	0.3	▲ 1.3
2008/ 1 ~ 3	1.2	▲ 0.1	▲ 0.1	1.4	▲ 16.6	▲ 0.7	▲ 307.4	▲ 0.0	0.6	▲ 2.0	19.7	1857.9	11.1	3.0	▲ 0.3	▲ 1.5
4 ~ 6	0.7	▲ 0.4	▲ 0.4	0.6	▲ 15.7	0.8	▲ 283.1	▲ 0.8	0.4	▲ 6.7	▲ 5.8	1439.7	6.1	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 1.5
7 ~ 9	0.4	▲ 0.3	▲ 0.3	0.5	▲ 3.8	▲ 1.7	▲ 186.9	▲ 0.1	0.6	▲ 4.3	15.0	3433.9	5.0	1.5	▲ 1.4	▲ 1.8

## ■ 前期比・寄与度

(%)

2007/ 7 ~ 9	0.2	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 0.3	0.1	0.0	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	▲ 0.0	0.5	0.5	0.0	—	—
10 ~ 12	0.6	0.3	0.1	0.2	▲ 0.3	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.3	0.5	▲ 0.1	—	—
2008/ 1 ~ 3	0.7	0.3	0.3	0.4	0.1	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 0.0	0.4	0.6	▲ 0.2	—	—
4 ~ 6	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.2	0.0	▲ 0.0	▲ 0.5	0.4	—	—
7 ~ 9	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 0.0	0.0	0.1	▲ 0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 0.0	0.1	▲ 0.1	—	—

## ■ 前期比年率・寄与度

(%)

2007/ 7 ~ 9	1.0	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 0.0	▲ 0.9	0.3	0.1	▲ 0.3	0.0	▲ 0.3	▲ 0.0	2.1	1.9	0.2	—	—
10 ~ 12	2.4	1.1	0.4	0.8	▲ 1.1	0.7	0.1	0.7	0.6	0.0	0.1	1.4	2.0	▲ 0.5	—	—
2008/ 1 ~ 3	2.8	1.0	1.2	1.6	0.5	▲ 0.1	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 0.3	0.2	▲ 0.0	1.8	2.6	▲ 0.8	—	—
4 ~ 6	▲ 3.0	▲ 2.7	▲ 1.9	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.8	▲ 0.0	▲ 0.8	0.0	▲ 0.1	▲ 1.8	1.7	—	—
7 ~ 9	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.1	0.0	0.3	▲ 0.6	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	▲ 0.2	0.5	▲ 0.7	—	—

## ■ 前年同期比・寄与度

(%)

2007/ 7 ~ 9	1.7	0.6	0.5	0.9	▲ 0.4	0.1	▲ 0.1	0.0	0.1	▲ 0.0	▲ 0.0	1.1	1.3	▲ 0.2	—	—
10 ~ 12	1.6	0.2	0.1	0.6	▲ 0.7	0.0	0.2	0.2	0.2	▲ 0.1	0.0	1.3	1.5	▲ 0.2	—	—
2008/ 1 ~ 3	1.2	▲ 0.1	▲ 0.1	0.8	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.2	0.0	0.1	▲ 0.1	0.0	1.3	1.7	▲ 0.3	—	—
4 ~ 6	0.7	▲ 0.4	▲ 0.3	0.3	▲ 0.5	0.1	▲ 0.2	▲ 0.1	0.1	▲ 0.2	▲ 0.0	1.0	0.9	0.1	—	—
7 ~ 9	0.4	▲ 0.2	▲ 0.1	0.3	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.0	▲ 0.1	0.1	▲ 0.2	0.0	0.7	0.9	▲ 0.2	—	—

(注1) 民間在庫、公的在庫、外需の前期比、前年同期比はそれぞれ前期差、前年同期差。

(注2) 実績値は、基礎統計の追加、季節調整のかけ直しなどの要因により、内閣府公表の数値とは異なっている可能性もある。